

ジョン・アーリ 『グローバルな複雑性』
(法政大学出版局、2014年)

～ 邦訳引用文献 ～

* 著者名 50 音順。

* 括弧内の漢数字は邦訳の発行年を示す。

[ア行]

アーサー, B. (二〇〇三)

『収益増と経路依存——複雑系の経済学』有賀裕二訳, 多賀出版. (Arthur 1994a)

アーリ, J. (一九九五)

『観光のまなざし——現代社会におけるレジャーと旅行』加太宏邦訳, 法政大学出版局. (Urry 1990)

アーリ, J. (二〇〇三)

『場所を消費する』吉原直樹・大澤善信監訳, 法政大学出版局. (Urry 1995)

アーリ, J. (二〇〇六)

『社会を越える社会学——移動・環境・シチズンシップ』吉原直樹監訳, 法政大学出版局. (Urry 2000b)

アダム, B. (一九九七)

『時間と社会理論』伊藤誓・磯山甚一訳, 法政大学出版局. (Adam 1990)

アパデュライ, A. (二〇〇四)

『さまよえる近代——グローバル化の文化研究』門田健一訳, 平凡社. (Appadurai 1996)

イトウェル, I.L./テイラー, L.J. (二〇〇一)

『金融グローバル化の危機——国際金融規制の経済学』岩本武和・伊豆久訳, 藤原書店. (Eatwell and Taylor 2000)

イグナティエフ, M. (二〇〇三)

『ヴァーチャル・ウォー——戦争とヒューマニズムの間』金田耕一ほか訳, 風行社. (Ignatieff 2000)

ウィリアムズ, R. (一九八五)

『田舎と都会』山本和平訳, 晶文社. (Williams 1973)

ウォーラステイン, I. (一九九六)

『社会科学をひらく』山田鋭夫訳, 藤原書店. (Wallerstein 1996)

大前研一 (一九九〇)

『ボーダレス・ワールド』田口統吾訳, プレジデント社. (Ohmae 1990)

オルブロウ, M. (二〇〇〇)

『グローバル時代の歴史社会論——近代を超えた国家と社会』会田彰・佐藤康行訳, 日本経済評論社.

(Albrow 1996)

[カ行]

カーン, S. (一九九三)

『時間の文化史——時間と空間の文化：1880-1918／上巻』, 『空間の文化史——時間と空間の文化：1880-1918／下巻』 浅野敏夫・久郷丈夫訳, 法政大学出版局. (Kern 1983)

カステル, M. (二〇〇九)

『インターネットの銀河系——ネット時代のビジネスと社会』 矢澤修次郎・小山花子訳, 東信堂.
(Castells 2001)

カプラン, C. (二〇〇三)

『移動の時代——旅からディアスポラへ』 村山淳彦訳, 未来社. (Kaplan 1996)

ギデنز, A. (一九九三)

『近代とはいかなる時代か? ——モダニティの帰結』 松尾精文・小幡正敏訳, 而立書房. (Giddens 1990)

キャストィ, J.L. (一九九六)

『複雑性とパラドクス——なぜ世界は予測できないのか?』 佐々木光俊訳, 白揚社. (Casti 1994)

クライン, N. (二〇〇一)

『ブランドなんか、いらない——搾取で巨大化する大企業の非情』 松島聖子訳, はまの出版. (Klein 2000)

グラッドウェル, M. (二〇〇〇)

『ティッピング・ポイント——いかにして「小さな変化」が「大きな変化」を生み出すか』 高橋啓訳, 飛鳥新社. (Gladwell 2000)

クリフォード, J. (二〇〇二)

『ルーツ——20世紀後期の旅と翻訳』 毛利嘉孝ほか訳, 月曜社. (Clifford 1997)

クルーグマン, J. (一九九七)

『自己組織化の経済学——経済秩序はいかに創発するか』 北村行伸・妹尾美起訳, 東洋経済新報社.
(Krugman 1996)

グローバルガバナンス委員会 (一九九五)

『地球リーダーシップ——新しい世界秩序をめざして』 京都フォーラム監訳, 日本放送出版協会. (UN Commission on Global Governance 1995)

ゲイツ, B. (二〇〇〇)

『思考スピードの経営——デジタル経営教本』 大原進訳, 日本経済新聞社. (Gates 1999)

ケリー, K. (一九九九 a)

『「複雑系」を超えて——システムを永久進化させる 9 つの法則』福岡洋一・横山亮訳, アスキー. (Kelly 1995)

ケリー, K. (一九九九 b)

『ニューエコノミー勝者の条件——ウィナー・テイク・オール時代のマーケティング 10 則』酒井泰介訳, ダイヤモンド社. (Kelly 1998)

コヴニー, P./ハイフィールド, R. (一九九五)

『時間の矢、生命の矢』野本陽代訳, 草思社. (Covney and Highfield 1990)

コーエン, R. (二〇〇一)

『グローバル・ディアスポラ』角谷多佳子訳, 明石書店. (Cohen 1997)

[サ行]

ジャービス, R. (二〇〇八)

『複雑性と国際政治——相互連関と意図されざる結果』荒木義修ほか訳, プレーン出版. (Jervis 1997)

ショー, M. (一九九七)

『グローバル社会と国際政治』高屋定國・松尾眞訳, ミネルヴァ書房. (Shaw 1994)

スチュアート, I. (一九九八)

『カオスの世界像——非定形の理論から複雑系の科学へ』須田不二夫・三村和男訳, 白揚社. (Stewart 1989)

ストレンジ, S. (二〇〇七)

『カジノ資本主義』小林襄治訳, 岩波書店. (Strange 1986)

スペンサー, H. (一八八二)

『社会学之原理』藤井宇平訳, 経済雑誌社. (Spencer [1876]1893)

ゾーハー, D. (一九九一)

『クォンタム・セルフ——意識の量子物理学』中島健訳, 青土社. (補遺 Zohar 1990)

[タ行]

デイヴィス, P. (二〇〇三)

『タイムマシンをつくろう!』林一訳, 草思社. (Davis 2001b)

デランティ, G. (二〇〇四)

『グローバル時代のシティズンシップ——新しい社会理論の地平』佐藤康行訳, 日本経済評論社.

(Delanty 2000)

デュルケム, E. (一九七五)

『宗教生活の原初形態 (上・下)』古野清人訳, 岩波書店. (Durkheim [1915] 1968)

ドゥルーズ, G./ガタリ, F. (一九九四)

『千のプラトー』宇野邦一ほか訳, 河出書房新社. (Deleuze and Guattari 1988)

トムリンソン, J. (二〇〇〇)

『グローバリゼーション——文化帝国主義を超えて』片岡信訳, 青土社. (Tomlinson 1999)

[ナ行]

ネグリ, A./ハート, M. (二〇〇三)

『〈帝国〉』水嶋一憲ほか訳, 以文社. (Hardt and Negri 2000)

ネグロポンテ, N. (一九九五)

『ビーイング・デジタル——ビットの時代』福岡洋一訳, アスキー. (Negroponte 1995)

ノース, D. (一九九四)

『制度・制度変化・経済成果』竹下公視訳, 晃洋書房. (North 1994)

[ハ行]

パーソンズ, T. (一九七七)

『近代社会の体系』井門富二夫訳, 至誠堂. (Parsons 1971)

バート, R. (二〇〇六)

『競争の社会的構造——構造的空隙の理論』安田雪訳, 新曜社. (Burt 1992)

バーバー, B. (一九九七)

『ジハード対マックワールド——市民社会の夢は終わったのか』鈴木主税訳, 三田出版会. (Barber 1996)

ハヴェル, V. (一九九一)

『反政治のすすめ』飯島周監訳, 恒文社. (補遺 Havel 1990)

バウマン, Z. (二〇〇一)

『リキッド・モダニティ——液状化する社会』森田典正訳, 大月書店. (Bauman 2000)

バシュラール, G. (一九六九)

- 『水と夢——物質の創造力についての試論』小浜俊郎・桜木泰行訳, 国文社. (Bachelard [1942] 1983)
- パワー, M. (二〇〇三)
- 『監査社会——検証の儀式化』國部克彦・堀口真司訳, 東洋経済新報社. (Power 1994)
- フーコー, M. (一九七七)
- 『監獄の誕生』田村俣訳, 新潮社. (Foucault 1977)
- フォックス・ケラー, E. (一九九三)
- 『ジェンダーと科学——プラトン、ベーコンからマクリントックへ』幾島幸子・川島慶子訳, 工作舎.
(Fox Keller 1985)
- フクヤマ, F. (一九九二)
- 『歴史の終わり 上・下』渡部昇一訳, 三笠書房. (Fukuyama 1992)
- フリードマン, T. (二〇〇〇)
- 『レクサスとオリーブの木——グローバリゼーションの正体 (上・下)』東江一紀・服部清美訳, 草思
社. (Friedman 2000)
- プリゴジン, I. (一九八四)
- 『確実性の終焉——時間と量子論、二つのパラドクスの解決』安孫子誠也・谷口佳津宏訳, みすず書
房. (Prigogine 1997)
- プリゴジン, I./スタンジェール, I. (一九八七)
- 『混沌からの秩序』伏見康治・伏見讓・松枝秀明訳, みすず書房. (Prigogine and Stengers 1984)
- ブローデル, F. (一九八五)
- 『物質文明・経済・資本主義——15 - 18 世紀: I-2 日常性の構造 2』村上光彦訳, みすず書房. (Braudel
1973)
- ベック, U. (一九八八)
- 『危険社会——新しい近代への道』東廉・伊藤美登里訳, 法政大学出版局. (Beck 1992)
- ベック, U. (二〇〇三)
- 『世界リスク社会論——テロ、戦争、自然破壊』, 島村賢一訳, 平凡社. (Beck 1998)
- ヘルド, D. ほか (二〇〇六)
- 『グローバル・トランスフォーメーションズ——政治・経済・文化』古城利明ほか訳, 中央大学出版
部. (Held et al. 1999)
- ホーキング, S. (一九八九)
- 『ホーキング、宇宙を語る——ビッグバンからブラックホールまで』林一訳, 早川書房. (Hawking 1988)
- ボードリヤール, J. (一九八四)
- 『シミュラクルとシミュレーション』竹原あき子訳, 法政大学出版局. (Baudrillard 1983)

[マ行]

牧本次生／マナーズ, D. (一九九八)

『デジタル遊牧民——サイバーエイジのライフスタイル』工業調査会. (Makimoto and Manners 1997)

マルクス, K.／エンゲルス, F. (一九五一)

『共産党宣言』大内兵衛・向坂逸郎訳, 岩波書店. (Marx and Engels [1848]1964)

メイロウィッツ, J. (二〇〇三)

『場所感の喪失——電子メディアが社会的行動に及ぼす影響・上』安川一ほか訳, 新曜社. (Meyrowitz 1985)

[ラ行]

ラシュコフ, D. (一九九五)

『サイバリア——デジタル・アンダーグラウンドの現在形』大森望訳, アスキー. (Rushkoff 1994)

ラトゥール, B. (二〇〇八)

『虚構の「近代」——科学人類学は警告する』川村久美子訳, 新評論. (Latour 1993)

リオタール, J.-F. (二〇〇二)

『非人間的なもの——時間についての講話』篠原資明訳, 法政大学出版局. (Lyotard 1991)

リッツァ, G. (一九九九)

『マクドナルド化する社会』正岡寛司訳, 早稲田大学出版部. (Ritzer 1992)

リッツァ, G. (二〇〇一)

『マクドナルド化の世界——そのテーマは何か』正岡寛司訳, 早稲田大学出版部. (Ritzer 1998)

リフキン, J. (二〇〇一)

『エイジ・オブ・アクセス——アクセスの時代』松田銑訳, 早川書房. (Rifkin 2000)

ルークス, S. (一九九五)

『現代権力論批判』中島吉弘訳, 未来社. (Lukes 1973)

ルーマン, N. (一九九三、一九九五)

『社会システム理論 (上・下)』佐藤勉監訳, 恒星社厚生閣. (Luhmann 1995)

ルーマン, N. (一九九六)

『自己言及性について』土方透・大澤喜信訳, 国文社. (Luhmann 1990)

ルフェーヴル, H. (二〇〇〇)

『空間の生産』 斎藤日出治訳, 青木書店. (Lefebvre 1991)

ロイ, A. (一九九八)

『小さきものたちの神』 工藤惺文訳, DHC. (Roy 1997)

ロッジ, D. (一九八六)

『小さな世界——アカデミック・ロマンス』 高儀進訳, 白水社. (Lodge 1983)

ロバートソン, R. (一九九七)

『グローバリゼーション——地球文化の社会理論』 阿部美哉訳, 東京大学出版会. (Robertson 1992)

[ワ行]

ワールドロップ, D. (二〇〇〇)

『複雑系——科学革命の震源地・サンタフェ研究所の天才たち』 田中三彦・遠山峻征訳, 新潮社.
(Waldrop 1994)

ワッツ, D. (二〇〇六)

『スモールワールド——ネットワークの構造とダイナミクス』 栗原聡・福田健介・佐藤進也訳, 東京
電機大学出版局. (Watts 1999)

[英字]

UNDP 国連開発計画 (二〇〇〇)

『人間開発報告書 2000 人権と人間開発』 国際協力出版会. (UNDP 2000)